

◆◆トピックス◆◆

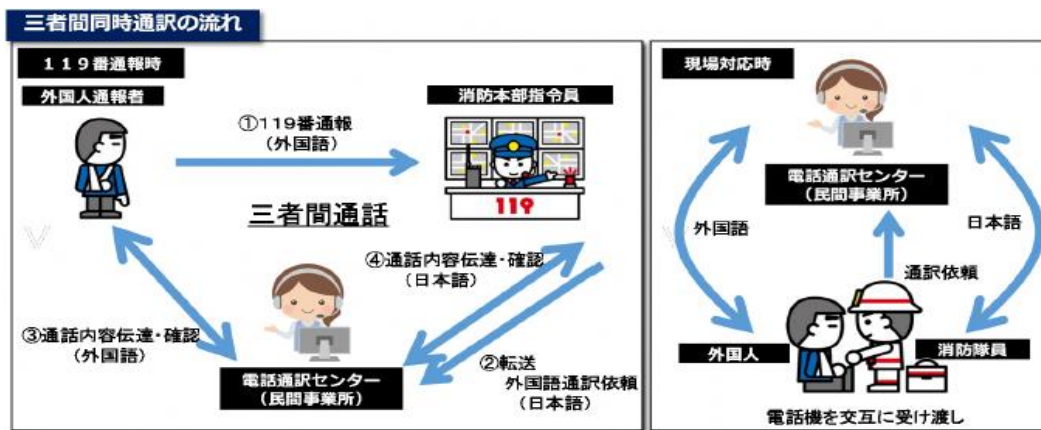
- ・ 119 番通報に「より早く」対応
- ・ 起震車（地震体験車）の運用を開始
- ・ 多言語音声アプリ「救急ボイストラ」を導入
- ・ バイスタンダーへ「サンキューカード」を配布
- ・ 警察と合同による繁華街夜間査察の実施
- ・ 神奈川県津波対策訓練に参加

◇ 119番通報に「より早く」対応 ◇

今後開催されるラグビーワールドカップや東京オリンピック等により、本市を訪れる外国人の増加が予想されます。外国人からの119番通報に対応するため、電話通訳センターを介した同時通訳サービスを2019年度中に導入し、多言語による通報に対応します。

さらに、救急現場や災害現場及び立入検査時等においても、同時通訳サービスを活用することにより、円滑な現場活動や消防業務につながることを期待できます。なお、対応言語は、英語、中国語、スペイン語、韓国語、ポルトガル語等の17か国語以上を予定しています。

また、屋外からの119番通報の中には、現在地がわからないケースが数多くあり、通報者から電柱番号を聞き取り、素早く現場を特定するシステムも併せて導入します。



◇ 起震車（地震体験車）の運用を開始 ◇

個人の防災力の更なる向上を目的に、平成31年3月に最新式の起震車（地震体験車）を導入しました。自主防災訓練などで、多くの皆さまに地震体験をしていただき、防災に対する意識の高揚を図ります。起震車では、緊急地震速報を鳴動させた一連の地震体験など本格的な体験訓練を行うことができます。地震の揺れから身の安全を守るためには、どのような行動をとるべきかを考えてもらう一端を担います。



◇ 多言語音声アプリ「救急ボイストラ」を導入 ◇

救急ボイストラは、通常の音声翻訳機能に加えて、救急現場で使用頻度の高い会話内容を「定型文」として登録しており、英語や中国語などの外国語による音声と画面の文字表示により、傷病者や通報者との円滑なコミュニケーションを図ることが可能となりました。

また、話した言葉が文字として表記されるため、聴覚障害者などとのコミュニケーションを図ることができるものです。



◇ バイスタンダーへ「サンキューカード」を配布 ◇

平成 30 年 9 月 9 日救急の日から、救急現場等で勇気を持って応急手当（心肺蘇生法など）を行っていただいた方へ、「よかった・ありがとう」の感謝の意を伝えるとともに、応急手当実施後の心の不安などに対するサポートを目的に、「サンキューカード」の配布を開始しました。応急手当を行った方が心的負担を感じた場合は、「サンキューカード」の裏面に記載の相談窓口（消防局救急課）に連絡いただき、関係機関と連携した心のサポート体制による負担の軽減と、応急手当への積極的な行動を促し、「安全・安心なまちづくり」につなげます。



◇ 警察と合同による繁華街夜間査察の実施 ◇

春季火災予防運動の一環として、警察と合同で横須賀中央駅周辺の飲食店に対して事前連絡なしで夜間の営業中に立入検査を実施し、飲食店関係者に、避難施設、防火設備及び火気使用場所の維持、管理について防火安全対策の指導を行いました。

今後も市民の安心・安全を守るため警察との連携を強化していきます。



◇ 神奈川県津波対策訓練に参加 ◇

三浦市三崎5丁目二町谷埋立地において実施された、神奈川県が主催する「国・県・市・民間」が一体となった津波対策訓練（実動訓練）に参加しました。

南消防署西分署特別救助隊は三崎警察署と岸壁付近の海上からの救出救助訓練、三浦消防署特別救助隊がNPO法人小網代パール海育隊と船舶による救出救助訓練を実施し、さらに横浜市消防局のヘリコプターが上空からの検索及び無線交信訓練を実施しました。

関係機関との合同訓練により、連携活動の強化を図ることが出来ました。

